

募集要綱の研究発表のテーマの番号とテーマ名を上欄に記入して下さい。

| | |
|--|---|
| 演 題 : "私の思いに沿った" 食生活を目指して | |
| 副 題 : 毎日の食事が楽しみだびい～ | |
| 種別・施設名 <small>ふりがな</small> 特別養護老人ホーム こもれび | |
| 職 名 ・発表者名 <small>ふりがな</small> | 管理栄養士・ <small>えんどう りょうすけ</small> 遠藤 凌介 |
| | |
| TEL (054) 343-0155 FAX (054) 343-0165 | |
| E-mail: info@t-komorebi.com https://www.t-komorebi.com | |
| 施設概要 当施設は、清水区の山あい位置し、お茶畑や竹林、紫陽花畑に囲まれて季節を感じる事の出来る自然豊かな施設です。 入居者様の一人ひとりの「私の思い」に沿った暮らしをいつまでも継続できるように支援することを理念に掲げ、取り組んでいます。 | |
| <p>〈取り組んだ課題〉</p> <p>施設における入居者様の暮らしは、私たち介護者の都合から、どうしても一律一斉の集団生活にならざるを得ない面がある。食事に関してもそれは同様で、家庭での食事環境と大きな違いがある。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べる量を気分に合わせて変えられない (おかわりができない) ・冷めている ・全員同じ食器を使っている <p>食事とは入居者様にとってここでの暮らしにおいて一番の楽しみである。</p> <p>食事の時間を提供するにあたって「おいしい食事」と言ってもただ単に味が良いだけではなく、家族団らんを感じて頂けるような環境を目指す。</p> <p>〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニットにおける炊飯、みそ汁づくり ・お盆をやめる、陶器の器を使用 ・必要に応じて、温めなおして提供 ・大皿から好きな量を取り分ける ・配膳や片付けを手伝っていただく ・飲み物やドレッシングが選択できる | <p>取り組みを定着させるために、マニュアル作成、アンケートの実施、ポスター掲示、目標設定などを行った。</p> <p>〈活動の成果と評価〉</p> <p>入居者様からは「お昼が楽しみだね」「来週は○○だったね」などと食事を楽しんでいる会話が多くなった。</p> <p>職員の「食」に対する意識が変わり、効率を重視する食事介助から、時間をゆったりと過ごす家庭的な雰囲気を大切にする食事環境に変わった。</p> <p>〈今後の課題〉</p> <p>今後は軽食（おやつ）の環境に目を向けて活動していく。全ての入居者様が同じ時間に同じものを一斉に食べるおやつをやめ、自宅での暮らしと同じようにお腹が空いたときに好きなものを食べる事のできる環境を作っていく。</p> |